

関西電力病院

はじめに

当院は、関西電力株式会社が社員の福利厚生ならびに地域における医療の拠点として昭和28年に開設した、ベッド数400床の総合病院です。平成16年度からの卒後臨床研修必修化に対応して、日常診療で遭遇するさまざまな疾患・病態に対処できるような診療能力を身につけられる研修システムを構築しています。各科ローテートだけでなく、レジデント部が中心となって臨床講義を数多く開催するなど、研修医に必要な基本的診療能力の習得を支援しています。また、2年間の卒後臨床研修修了後、シニアレジデントへの応募が可能です。

関西電力病院
院長 滝 吉郎

01 病院概要

○病床数 400床

- ・安全で、患者さま中心の病院をめざします。
- ・地域医療との連携を推進し、開かれた医療を行います。
- ・責任と誇りを持って、医療の向上に努めます。

○医師数 157名（内、初期研修医14名）

- 初期研修医
- ・1年次 単独型 5名／たすきがけ 3名 計 8名
 - ・2年次 単独型 6名／たすきがけ 0名 計 6名

・関西電力病院は、当初『社員の福利厚生と地域医療への貢献』を目的に昭和28年に創設されました。昭和42年に現在の地に移転し、患者さま中心の医療と医療の質の向上、地域に開かれた病院を理念に掲げ、大阪府北部から兵庫県南部にかけての基幹病院として、急性期医療を中心に診療を行っています。

・病院の特徴としては、総合病院であると共にがんや生活習慣病などの慢性疾患、脳卒中、急性冠不全をはじめとする急性期の血管障害の診断や治療にも力を入れています。とくに病診連携を推進し、地域のかかりつけ医の先生方に気軽に御利用いただけるようにシステムの充実を心がけています。

・当院は関西電力の直営病院であり、ニーズに即応した診療システムを弾力的に運用できることが最大の特徴です。一般診療のみならず、救急医療や高度の画像診断技法の開発などにも力を入れています。臨床研究も積極的に行っており、学会発表や論文発表も多く、種々の学会の認定教育病院にも指定されています。

・2013年5月に開院した新病院では、「回復期リハビリテーション病棟の開設」、「手術室・救急診療室の高機能化、最新鋭医療機器の導入」を実施し、これまで以上に満足度の高い医療の提供が可能となりました。

・充実した設備・環境の中、自由度の高い臨床研修プログラムを実施しております。

02 研修プログラムの目的と特徴

○当院は単なる企業立病院にとどまらず、真に地域に貢献できる病院として発展してまいりました。その存在意義が大きくなるにつれ、病院スタッフのモチベーションはさらに上がって医療レベルの向上につながり、よい循環を続けています。さらに医師臨床研修制度においては、良医を育てるという社会貢献を目的に、当院の臨床研修プログラムは構成されています。研修を円滑に進めるための院内調整のみならず、臨床講義を数多く行い、直接の指導にも関わっています。教育を通して病院全体の活性化にも寄与しています。当院レジデント教育のモットーは、『当り前のこと』を『当り前にできる医師を育てる』です。『当り前のこと』とは『各科共通項目』、『医師としてのminimal requirement』です。将来何科に行ってもブレることのない、太い芯を持った医師になってもらえるよう、『当り前』を意識して掘り下げ、徹底して指導することを心がけています。

○当院の卒後臨床研修は、初期研修と専門研修に分かれています。初期研修の2年間は、ジュニアレジデント（初期研修医）として、厚生労働省の卒後研修プログラムに沿って幅広い臨床医としての基礎の習得に充てます。

1年目は内科・外科・救急部門などのローテートを行い医師としての基本的な姿勢をしっかりと身に付けていただきます。2年目は産婦人科・小児科・精神科・地域医療・救急部門など厚生労働省の定めた必修分野の研修を行うとともに、各人の希望も加味して選択科目をローテートしていただきます。

また初期研修終了後もシニアレジデント（専攻医）として、新しい専門医制度にそった専門研修が可能で、当院でさらなる研鑽を積んでいただくことができます。

03 診療科概要

- 診療科目：内科、循環器内科、消化器・肝胆膵内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌代謝センター、呼吸器内科、呼吸器外科、脳神経内科、心療内科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、脊椎外科・手外科・整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、形成再建外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、緩和医療科、病理診断科、救急集中治療科
- 中央診療センター：薬剤部、リハビリテーション部、放射線部、臨床検査部、内視鏡部、病理部、手術部、疾患栄養治療センター、臨床工学部、外来化学療法室、血液浄化室、救急集中治療部
- 治療センター：糖尿病・内分泌代謝センター、内分泌腫瘍センター、疾患栄養治療センター、フットケアセンター、消化器センター、呼吸器センター、腎センター、脳卒中センター、睡眠関連疾患センター、手の外科センター、脊椎・脊髄外科センター、心臓血管センター、マイクロサージャリー外傷センター、緩和ケアセンター、形態機能再生センター、救急集中治療センター、栄養サポートチーム、呼吸サポートチーム、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、認知症ケアチーム など

0 4 教育施設認定学会

大阪府肝炎専門医療機関指定、日本医学放射線学会放射線専門医修練機関認定施設、日本栄養療法推進協議会NST稼動施設認定、日本核医学学会専門医教育病院、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本肝臓学会専門医施設認定、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本気管食道科学会研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本胸部外科学会指定施設、日本形成外科学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本血液学会血液研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器外科学会認定修練施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本耳鼻咽喉科学会研修施設、日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本神経学会専門医制度教育施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本腎臓学会研修施設、日本整形外科学会整形外科専門医研修施設、日本整形外科学会認定脊椎内視鏡認定施設、日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設、日本手の外科学会専門医研修施設（基幹施設）、日本糖尿病学会認定教育施設、日本内科学会認定医制度教育病院、日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設、日本乳癌学会関連施設、日本脳神経外科学会認定専門医研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本肥満学会認定肥満症専門病院、日本病態栄養学会栄養管理・NST実施施設、日本病理学会認定施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医指定研修施設、日本麻醉科学会認定病院、日本リウマチ学会教育施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、マンモグラフィ検診施設画像認定施設 他

05 プログラムの種類と研修施設

- 1 プログラムの種類：基幹型臨床研修病院
- 2 基幹施設：関西電力病院
- 3 研修協力型病院：JCHO大阪病院、ねや川サナトリウム、
関西医科大学総合医療センター、阪本病院
- 4 研修協力施設：おおい町保健・医療・福祉総合施設診療所、
かしいクリニック、加納内科、佐々木内科クリニック、
高浜町国民健康保険和田診療所、丹後中央病院、
林クリニック、松下医院、美浜町東部診療所、
JCHO若狭高浜病院

06 研修課程

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科（28週） ※内一般外来2週（平行研修）						外科（8週）		救急（12週） ※内救急麻醉4週		麻酔（4週）	
2年次	地域医療（4週）	小児科（4週）	産婦人科（4週）	精神科（4週）	救急（4週）	選択科目（32週）						

【1年次】

- ・内科28週については、消化器、循環器、腎臓、血液、脳神経、呼吸器、糖尿病・内分泌代謝から3科選択していただきます。
- ・外科の研修中に、可能な限り乳腺外科手術も経験していただきます。
- ・救急12週の内4週は麻酔救急となります。

【2年次】

- ・地域研修は、福井県・京都府の協力施設での研修となります。
- ・精神科、小児科、産婦人科は協力型病院での研修となります。
- ・2年目の選択科32週については、1科4or8週とし、予め希望診療科を聞き取りの上、決定します。

07 教育に関する環境等

【教育環境】

- 病院から各自に1台ノート型パソコンを貸与しており、インターネットの常時接続が可能で、図書機能としてUp To Dateや医学中央雑誌等により、常に最新の文献検索ができます。
- 研修医室を設置しています。

【Clinico-Pathological Conference (CPC)】

- 数ヶ月に1度、レジデントの担当症例を中心に病理との症例検討会を行います。

【特別勉強会】

- ACLS（2次救命処置）研修への参加が可能です。
- 適時、PLSL（脳卒中病前救護）コース、ISLS（脳卒中2次救命処置）への参加が可能です。

【レジデント勉強会】

- 毎週火曜日の朝方に救急症例検討会を行っています。各レジデントの経験症例にフィードバックを与えるとともに、救急診療の知識を共有します。
- 毎週木曜日の夕方に臨床のコモンセンスに関する講義を行っています。
- 月1回、内科総合症例検討会に参加、または症例の発表を担当します。
- その他適宜、院内外講師によるレジデント教育講義を行っています。

08 研修医の待遇

- 給与**：当院の定めるところにより支給します。
(月例30万円、年収500万円程度（賞与、諸手当込み）)
- 社会保険等への加入**：研修期間中は健康保険（関西電力健康保険組合）、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、介護保険に加入します。
- 預金制度**：持家財形貯蓄制度や一般預金制度などがあります。
- 医師賠償責任保険の扱い**：関電病院自体で加入していますが、院外の研修もあるため個人加入も推奨しています。
- 学会・研究会参加費**：年2回まで必要経費（旅費・宿泊費・学会参加費）を支給します。
- 休日**：日曜日および法令に規定された祝祭日のほかに、土曜日は隔週の半日出勤で、月に1度指定休日を取得できます。
- 休暇**：勤続1年未満は5日～15日、1年以上は20日の有給休暇を取れます。他に、夏期、結婚、忌服などの特別休暇があります。
- 宿舎**：病院から近傍の賃貸施設を紹介しますが、関西電力の職員宿舎にも社内基準を満たせば入居可能です。
- 食事**：院内職員食堂を利用できます（有料）。
- 福利厚生**：福利厚生代行サービス会社及びカフェテリアプランの利用ができます。

09 アクセス



電車でのご来院の場合

- 阪神電鉄「福島駅」下車3番出口を出てなにわ筋を南へ 徒歩約5分
 - JR東西線「新福島駅」下車2番出口を出てなにわ筋を南へ 徒歩約5分
 - JR環状線「福島駅」下車なにわ筋を南へ 徒歩約7分
 - 京阪電車「中之島駅」下車6番出口を出てなにわ筋を北へ 徒歩約3分

バスでご来院の場合

- 大阪シティバス玉江橋下車 徒歩 2 分
 - 大阪シティバス浄正橋下車 徒歩 4 分

お車でご来院の場合

- 玉江橋北詰交差点を西へすぐ



お問い合わせ先

〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号

H P <https://kanden-hsp.jp/>

T E L 06-6458-5821 (代表)

F A X 06-6458-6994

E-m a i l 病院H Pの「お問い合わせ」からお願いします。